

## 株式会社 ライトニックス

http://lightnix.net/

所在地 兵庫県西宮市甲東園2-2-6

TEL&amp;FAX 0798-52-3594 0798-52-3594

代表者 取締役会長 福田 光男

創立年月日 2002年5月

資本金 8,400万円

従業員数 5人

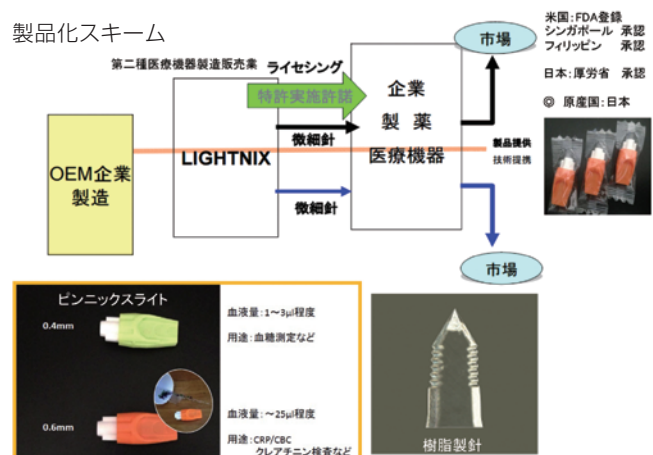
## 事業内容

株式会社ライトニックスが自社開発し、2012年から発売しているランセット針「ピンニックスライト」は従来の金属製針とは違い、植物性由来の樹脂であるポリ乳酸を使った世界初の樹脂製採血針である。また、この製品群について形状特性に係る基本特許を始め、製品の機能性に係る特許も取得しており、数々の特許を取得している。当初より事業戦略の中に海外展開を視野にいれ、主要国での特許の取得も進めている。

この世界初の樹脂製針は蚊に刺されても痛くないことをヒントに考案され、痛みの少なく人にやさしい針というだけでなく、医療廃棄物で大きな問題になっている金属を使用していないことで、環境にも優しい針と言える。

この樹脂製針の生分解性ポリマーは、従来から医療現場で使用されており、今後は生体適合性に優れた針ごと薬ごと吸収可能なDDSシステムとしても応用可能で有り、同社はこの分野において様々な研究を行っている。

## 製品化スキーム



## 知的財産活用事例

最初の着目点である蚊に刺されても痛くないということから痛みの少ない注射針としてだけでなく、植物性のポリ乳酸を使うことで世界初の針が誕生した。海外へのライセンスアウトに関しては知的財産、ノウハウを守るためにもよほどのことがない限り行わない。設計、生産、システムは全てノウハウに絡むため、仮にライセンスアウトしたとしても生産できない。知的財産の利用としては他社の追従を防ぐ防御的なものと企業とのアライアンスのために使用している。全ての工程で独自のノウハウがあり、全体を把握しているのは同社のみである。各大学とも共同で基礎研究を行い、応用範囲を広げることが志向している。当該知財を活用したフィンガーフリップ: 指先採血は世界の潮流になる方向性があり、「ピンニックスライト」については裾野が広い分野と考えている。

## 知的財産の創出や活用に関する取組

知財戦略として当初より海外展開を視野に入れたものとなっている。現在は日本での認知に加え、海外での高い評価を得て、小児に対しても使用され、痛みの少ない針として知られる。また、発展途上国においては廃棄物が二次感染を防ぐこともあり注目を集めている。金属の廃棄は極力減らし安全性の高いゴミの少ない医療機器の開発を目指す。また、この生分解性材料は医療材料として応用範囲の広い材質であるが、加工には機械と技術の両方が揃わないと製品にするのは難しく、このノウハウを自社で蓄積する。特許は相手方の能力によることもあり、なんでも出す必要は感じていない。

## 起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

大学から持ち込まれる特許に関して基本特許や技術はそのまま特許として利用するのは難しい。製品に近いところでの補強特許、周辺特許が必要であくまで製品に結びつくところを抑える必要がある。

また、技術、製品の良さをわかる相談者が必要で、共同研究の場合、会社として研究をリードすることが必要と考えている。協力者を得るには医療関連の団体が行うセミナーや医療関係者との接触を多くとることが必要。